

教科	科目	単位数	学年	集団
国語	論理国語	2	3	スポーツ探究科

使用教科書	副教材等
論理国語 (大修館書店)	常用漢字ダブルクリア (尚文出版) 真の語彙力・活用力が身につく現代文単語ノート (文英堂) リテラ現代文2 (文英堂)

科目の目標
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 (2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

評価の観点とその趣旨	
①知識・技能	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。
②思考・判断・表現	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。
③主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。
評価方法	
①定期テスト、小テスト ②定期テスト、ワークシート ③授業、テストへの取り組み状況、提出物	

学習計画						
月	単元名	使用教科書項目	単元や題材などの内容のまとまりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが重要旨を把握する	自己と他者ー自己を規定するものは何か？ 『「贈り物」としてのノブレス・オブリージュ』	①文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。 ②内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが重要旨を把握することができる。 ③言葉の持つ価値への認識を深めようとしている。	○		
5	情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、論点を明確にして主張を支える適切な根拠をそろえる	コミュニケーションの手段ー私たちはどのようにして伝えあっているのか？ 『記号的メディアと物理的メディア』、「対比して論じる」	①論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き豊かな語彙を扱うことができる。 ②情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、論点を明確にして主張を支える適切な根拠をそろえることができる。 ③言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	○		○
6	多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にする	メディアの変容ー私たちはマス・メディアとどのように付き合うべきか？ 『消費されるスポーツ』、「仮説を立てて検証する」	①論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き豊かな語彙を扱うことができる。 ②多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にすることができる。 ③言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。			○

7	内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが 要旨を把握する	言葉の探究一言葉と世界 の認識はどのように 関わるのか？ 『人を指す言葉－自称 詞・対称詞・他称詞』	①文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解している。 ②内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが 要旨を把握することができる。 ③言葉の持つ価値への認識を深めようとしている。	○		
9	主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する	言葉の探究一言葉と世界 の認識はどのように 関わるのか？ 『猫は後悔するか』	①文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解している。 ②主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈することができる。 ③我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めようとしている。	○	○	
10	立場の異なる読み手を説得するために。批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫する	政治と社会－私たちはどのように政治と向き合うべきか？ 『多数決を疑う』、 「対立した意見をふまえて書く」	①論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き豊かな語彙を扱うことができる。 ②立場の異なる読み手を説得するために。批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫することができる。 ③言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	○	○	
11 12	人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深める	政治と社会－私たちはどのように政治と向き合うべきか？ 『「である」ことと「する」こと』	①論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き豊かな語彙を扱うことができる。 ②人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めることができる。 ③言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	○		○
1	自分の主張が的確に伝わるように書かれているか吟味し、読み手からの助言などを踏まえて、文章の構成や展開、表現の仕方などに関する自分の文章の特徴や課題を捉え直す	存在への問い－自分とはどのような存在か？ 『日常に走る亀裂』、 「テーマの具体化・焦点化」	①文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。 ②自分の主張が的確に伝わるように書かれているか吟味し、読み手からの助言などを踏まえて、文章の構成や展開、表現の仕方などに関する自分の文章の特徴や課題を捉え直すことができる。 ③言葉の持つ価値への認識を深めようとしている。			○ ○
2						
3						